

矢作川流域圏懇談会通信

R4 流域連携 vol. 4



発行日：令和4年12月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第1回 中部のいい川ワークショップ in 天竜川流域 に参加しました！

今回が初となる本ワークショップは、長野県だけでなく河口の静岡県まで目を向けた流域連携をテーマとしています。矢作川流域圏懇談会としては、同じ中部地域であることや流域連携をテーマとしていることから、共通の課題や問題意識を持つ集まりとして、当日の活動発表及びパネルトーク、エクスカーションへの参加を行いました。

日程：令和4年11月12日（土）～11月13日（日）

場所：長野県上伊那郡宮田村 村民会館

参加人数：7名（事務局を含む）



◆イベントの目的と内容

1. 目的とイベントの内容



■目的（チラシより一部抜粋）

「このシンポジウムでより多くの方に河川の現状や仲間たちの活動を知って頂くことや、情報交換・交流により、キラリと光る活動のエッセンスをお互いに発見し、中部地域で活動する様々な団体の連携を深め、広がり期待します。」

■主なイベント内容

- ◇全体発表会（会場での応募14団体の活動発表）
- ◇パネルトーク（環境と防災の両立や、公と民の活動のあり方などを議論）
- ◇エクスカーション（与田切床固工群や坂戸橋、太田切流路工を見学）など



流域関係者でのパネルトークが行われました。

2. 各団体の発表



全体発表には14団体が参加いたしました！

- 遠州灘アカウミガメ放流ツアー（NPO法人天竜川ゆめ会議）
- 鈴鹿川探検隊（魚と子どものネットワーク）
- 飯島いいものつくろう会について（飯島いいものつくろう会）
- 河川市民団体の持続可能な活動に必要なことは？（名古屋大学国土デザイン研究室）
- 拾い続けて42年～無理せずコツコツゴミ拾い～（下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会）
- 学童保育を協働×伝統構法で木造化！街に森を作るプロジェクト（森と子ども未来会議）
- 10月1日は「諏訪湖の日」（諏訪湖創生ビジョン推進会議）
- 豊かな海を取り戻すため、100年後の奈佐の浜の漂着ゴミをゼロに！（22世紀奈佐の浜プロジェクト）
- 語りつぐ天竜川シリーズの発行（国土交通省 天竜川上流河川事務所）
- 「つりチケ」を通じた川づくりの繋がり活動（一般社団法人Clear Water Project）
- 門原川リメイクプロジェクト（長野県飯田建設事務所）
- ブラアイチ（ブラアイチ事務局（愛知県建設局河川課））
- 一級河川駒沢川の親水公園（親水護岸計画）について（伊奈建設事務所）
- 流域全体のつながりを考える（矢作川流域圏懇談会）



短い持ち時間の中、各々工夫を凝らした発表が行われていました。

3. 矢作川流域圏懇談会の発表



矢作川流域圏懇談会も団体発表に参加いたしました！

懇談会委員の二人がはぎぼう役と事務局役に分かれ、寸劇を交えて活動の紹介を行い、強烈なインパクトを残しました。
会場で行われた寸劇の一部をご紹介します。

事務局：矢作川流域のゆるキャラ「はぎぼう」だ！ もっとたくさんの人達を矢作川流域圏懇談会に巻き込んでいきたいと思っているの。どうしたらいいかな～？

はぎぼう：今、ここで矢作川流域圏懇談会について紹介したら、みんなが興味を持ってくれると思う！

事務局：矢作川流域圏懇談会は、河川管理者だけでは解決できない課題に対して流域一体となって取り組み、流域圏全体の発展につなげることを目指して平成22年度に設立しました。

はぎぼう：流域は運命共同体という共通認識のもと、意見交換やフィールドワークを行っているんだよね～！



会場では「タイムキーパーがアラームを忘れる」ほど、引き込まれていました。

4. エクスカーション（体験型の見学会）



発表会とパネルトークの翌日、実際に天竜川で行われている工法などの見学を行い、矢作川でも活かせる工夫を学びました。

■与田切床固工群（河川の連続性を保つ砂防工事）

石が多い河川なので、なるべく自然に近い景観にするため、現地の石を利用して人工物が見合えないように工夫した工法が行われています。石の下にはしっかりと構造物がありますので、洪水が来ても砂防機能は確保されます。また、動物、魚類が昇りやすいよう、階段状の傾斜を設けています。

■坂戸橋（昭和の土木遺産）

河川の勢いが強く河道内に橋げたを作れないため、アーチ状となっている橋です。型にコンクリートを流し込んで作った”手作り”となっており、デザイン性に優れているため重要文化財となっています。

■太田切流路工（昭和時代の景観に配慮した砂防工事）

流路工にある、景観に配慮した石垣を見学しました。現在の護岸は大きな石を使うことが多いですが、昭和の時代に作られた石垣は材料の石を人力で運んだため、小さな石が使われています。



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 山路、建設専門官 宮本、技官 松田

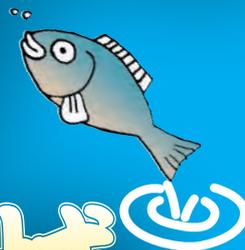
TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、豊橋河川事務所までご連絡ください。



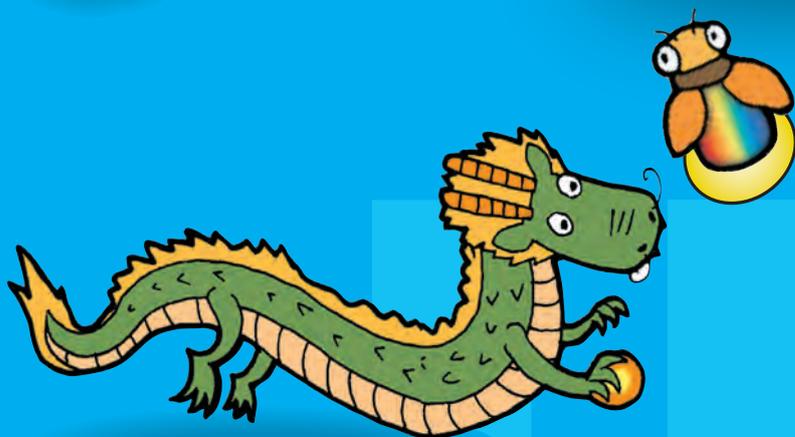
中部のゆめ山

ワークショップ



in天竜山流域

第1回



魅力あふれる多くの河川を有する中部五県の川に係わる活動をしている市民団体や学校、子ども会等、いろいろな仲間が、山や谷を超え地域の枠を払って一堂に集まり、その活動内容を発表します。

このシンポジウムでより多くの方に河川の現状や仲間たちの活動を知って頂くことや、情報交換・交流により、キラリと光る活動のエッセンスをお互いに発見し、中部地域で活動する様々な団体の連携を深め、広がりを目指します。

入場無料

令和4年

11/12・13 土日

場所：長野県上伊那郡宮田村村民会館

時間：午後1:00～

発表者募集中

※発表後に、一般の方も交えて「懇親会」を予定しております。ぜひご参加ください。
※詳しくは、裏面をご覧ください。



主催：中部流域連携ネットワーク

事務局 〒461-0002 名古屋市東区代官町 39-18 日本陶磁器センタービル 5-D

中部リサイクル運動市民の会内 NPO法人 地域の未来・志援センター内 TEL 052-936-3213 FAX 052-982-9089

河川 公益財団法人河川財団による基金 河川基金の助成を受けています。

共後

催：特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議／宮田村／宮田村教育委員会／(一社)長野県測量設計業協会
援：国土交通省中部地方整備局／愛知県／岐阜県／三重県／長野県／駒ヶ根市／飯島町／中川村／長野県治水砂防協会／長野県河川協会／長野県砂防ボランティア協会／(一社)長野県建設業協会／(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部長野地域委員会／信濃毎日新聞社／中日新聞社／岐阜新聞社、岐阜放送／長野日報社／信州・市民新聞グループ／南信州新聞社／長野放送／LCV／伊那ケーブルテレビ／エコシティー・駒ヶ岳／飯田ケーブルテレビ／飯田エフエム放送

■プログラム概要 一部予定、敬称略

令和4年11月12日(土) 宮田村 村民会館 大ホール 定員200名(先着順)

13:00 ~ 《開会の辞》 宮田村長 小田切康彦

13:10 ~ 《主催者挨拶・趣旨説明》 中部流域連携ネットワーク 代表 近藤 朗

13:15 ~ 《進行方法の説明》 ワークショップ実行委員長 天竜川ゆめ会議 代表理事 福澤 浩

13:20 ~ 《活動発表》(3分+3分)×20団体

15:20 ~ 《休憩》10分

15:30 ~ 《キラリを探すパネルディスカッション》(予定)

ファシリテーター：中部流域連携ネットワーク 清水雅子

コメンテーター：中部流域連携ネットワーク 中村晋一郎、福澤 浩

中部地方整備局 河川部長 舟橋弥生

愛知県 建設局 河川担当者

岐阜県 県土整備部 河川担当者

三重県 県土整備部 河川担当者

静岡県 交通基盤部 河川担当者

長野県 建設部長 田中 衛

16:50 ~ 《表彰》“私の大好きな中部の川”風景写真コンテスト

17:10 ~ 《総評・総括》天竜川上流河川事務所 所長 佐藤 保之

17:50 ~ 《謝辞・閉会の辞》 中部流域連携ネットワーク 理事 名畑 恵

18:00 ~ 閉会

18:00 ~ 《連絡事項》 懇親会場の説明、翌日の予定連絡

18:10 ~ 移動 → 懇親会

■11月13日(日) エクスカーション ～魅惑の天竜川中流ツアー～

9:00 ~ 《集合》 宮田村 村民会館玄関集合 バス乗車

9:20 ~ 《見学 1》 与田切流路工 河床連続性を保つ砂防工事

10:00 ~ 《見学 2》 坂戸橋見学 昭和の土木遺産

10:40 ~ 《見学 3》 大田切流路工 昭和時代の景観に配慮した砂防工事

11:30 ~ 《見学 4》 かんてんぱぱガーデン フリーズドライ信州のお土産

12:00 ~ 《昼食》 解散、宮田村 村民会館へ

■お申込み ※ファクシミリで、下記内容を下記事務局までお申込下さい。

参加者氏名 ※複数記入可					
所属団体名 会社名		連絡先 ※代表者名	〒 TEL E-mail		
懇親会 参加者	大人 未成年	名 名	×3,000円= ×1,000円=	円 円	合計 円
エクスカーション 参加者		名	無料		

【お問合せ】 特定非営利活動法人天竜川ゆめ会議 駒ヶ根市赤穂 14616-67
ファクシミリ 0265-83-7745 TEL 0265-83-7745

■当研修会は、測量系・設計系 CPD の認定を受けています。